

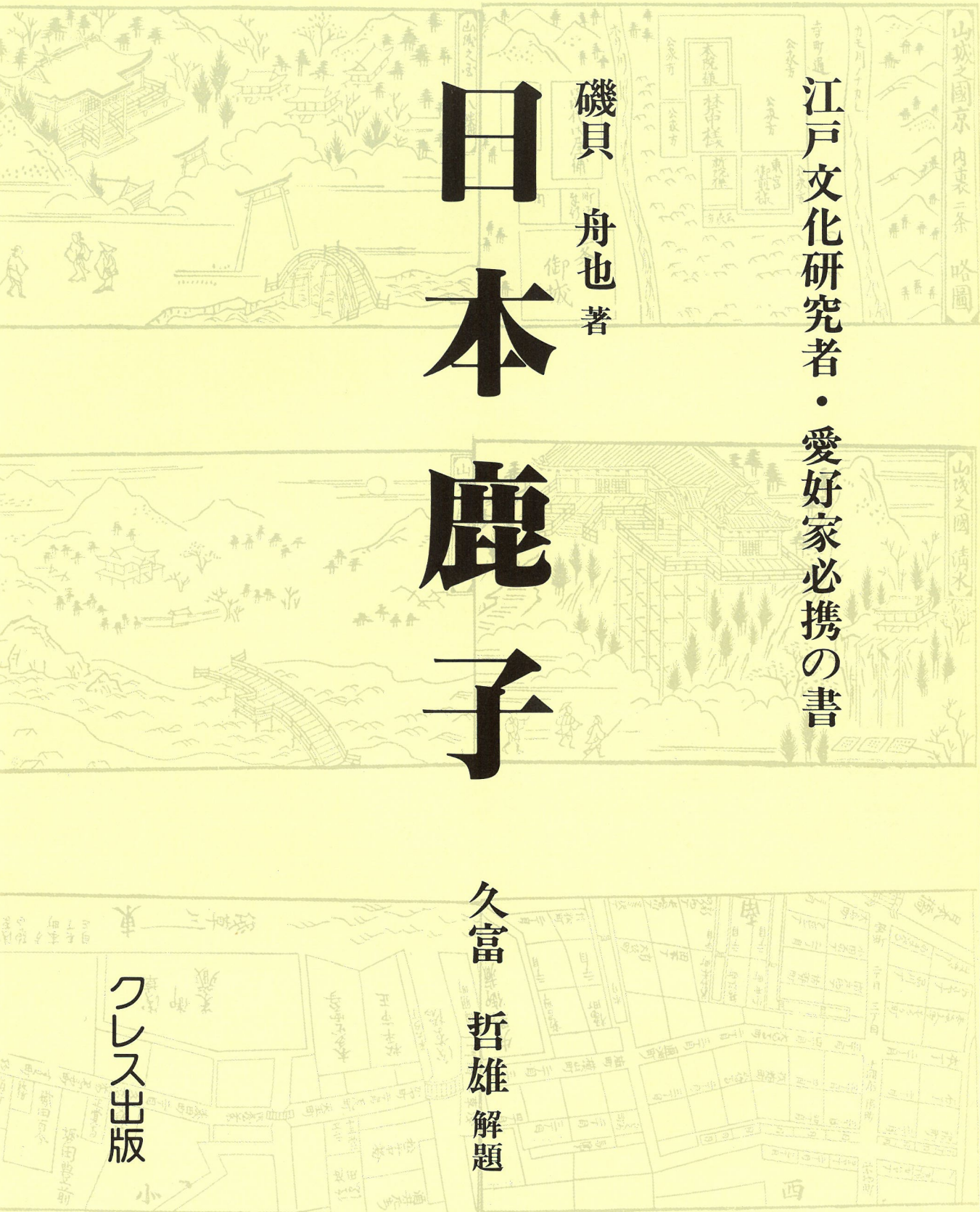
江戸文化研究者・愛好家必携の書

磯貝舟也著

日本鹿子

久富哲雄 解題

クレス出版



刊行の言葉

有用な畿内・七道、六十八ヶ国の地誌

鶴見大学女子短期大学教授 久富 哲雄

久富 哲雄

紀行文の読解には、関係各地の地誌が不可欠の参考資料である。芭蕉の紀行文に限って言えば、今日最も容易に参照できる全国的地誌は、すみや書房版「古板地誌叢書」所収の『国花万葉記』である。しかし、本書は芭蕉没後の元禄十年（一六七）五月の出版であるから、もつと芭蕉の旅の年時に近いころ出た地誌の方が資料的には有用である。

その要望に添えてくれるのが磯貝舟也著『日本鹿子』である。これは元禄四年三月の刊行であるから、芭蕉の紀行文を読む際の参考資料として好適の地誌と言うことができよう。

首巻の序によると、『江戸鹿子』の便利さにならない、「日本鹿子」と題して、国々所々津々浦々の数里、あるハ古跡の神社佛欄、あるハ名所名物やうのこと書あつめて」出版したものという。著述に際しては、永年にわたって日本全国「ゆかぬ所もなくかけめぐ」つた旅行の手控えや実地踏査によって本書を成したともあるが、これは信じ難いとされている。

全十五巻は、首巻は序・惣目録、以下、畿内・東海道・東山道・北陸道・山陰道・山陽道・南海道・西海道に区分し、各道を国別に記載してある。記載内容は、大和国に例をとってみると、知行高・

國中城々・同陣屋・同御代官・南都・神社・佛閣・名所・名物・道法付・五畿内図の多項目にのぼるが、国により記載内容には精粗の差が見られる。

さて、下野国の部を見ると、日光山の略絵図があり、山内の大略を察することができる。そして「下野国日光山」の説明文中には、「二荒山を空海登山はより称日光山」とあり、『おくのほそ道』日光の章の、「往昔此御山を二荒山と書しを」の箇所の読み方の参考となる。また、「東山道」「東仙道」両様の表記が見られ、当時は「東山」と書いても「東仙」と読んでいたのではないかと推測され、壺の碑の章の「東海東山節度使」の読みに関わってくる。なお、各国の名所の部の歌枕には証歌が挙げてあるのも便利である。

以上は『日本鹿子』の『おくのほそ道』読解上の参考資料たる実例を若干挙げただけであるが、『日本鹿子』は単に紀行文読解上の参考資料たるにとどまらず、時代小説の作者にも、城主の交替記録・禄高、宿場間の里程、名所、名物の記載など、大なる便益を与えるのではないかとと思われる。

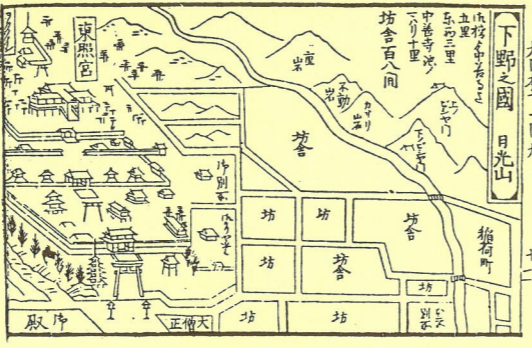
本書が研究者・作家、その他多くの江戸文化愛好家の座右に置かれて、広く永く利用されることを希望する次第である。

見開き体裁見本(50%縮小)

内容見本

Table listing various locations and their associated figures or distances. Includes entries like 町御奉行, 禁裏付, 本院御付, 新院御付, 十五夏石, etc.

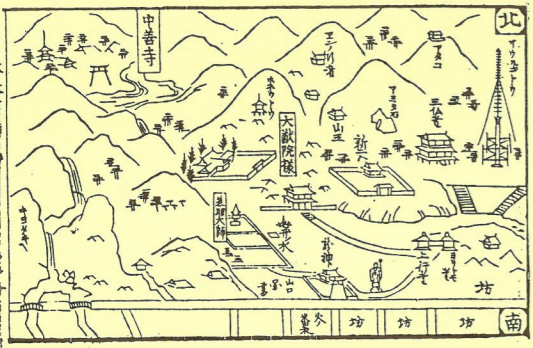
三オ



十一ウ

Table listing specific locations and distances within the lower野国 region, such as 大宮, 日光山, 小貝川, etc.

十三ウ



十二ウ

Table listing specific locations and distances within the upper野国 region, such as 東照大権現, 社願一万石, 御佛殿, etc.

十三オ

◆『日本鹿子』

B5判、上製丸背クロス装、定価一八、五四〇円(本体一八、〇〇〇円)
平成六年七月末日刊行

◆国文学関係書籍の御案内

芭蕉研究資料集成

全20巻 久富哲雄監修・解題
俳諧の世界のみならず、日本文学全体に多大な影響をおよぼした芭蕉の没後三百年を記念して、人物・作品の価値ある研究書を集成。
明治篇全9巻
揃定価一〇九、一八〇円(本体一〇六、〇〇〇円)
大正篇全11巻
揃定価一五四、五〇〇円(本体一五〇、〇〇〇円)

俚言集覽 自筆稿本版

全11巻 太田全齋編 ことわざ研究会監修・解題
江戸時代の代表的な三大国語辞書の一つ『俚言集覽』の唯一の稿本を『移山伊呂波集』とともに復刻。活字本にはない書き込み等も多く、研究者に新たな資料を供与する。
揃定価一五四、五〇〇円(本体一五〇、〇〇〇円)

蕪村研究資料集成

全17巻 久富哲雄・谷地快一監修・解題
日本・中国を問わず、古典に親しみ、俳諧に絵画に、自在なる境地を志向した蕪村の明治・大正期に刊行された基礎的研究資料を集成。
揃定価一九一、五八〇円(本体一八六、〇〇〇円)

徳川三百年人物大鑑

全5巻 長田偶得編
徳川三百年間に於ける思想界に勢力のあつた碩学鴻儒、文学者美術工芸家名僧、義人烈士等七二名の伝記集。年譜・肖像画付。
揃定価七八、二八〇円(本体七六、〇〇〇円)

西鶴研究資料集成

全8巻 竹野静雄監修・解題
江戸時代の浮世草子作者・俳諧師井原西鶴の没後三百年を記念して、明治大正、昭和初期に発表された資料約四七〇点を纏めて刊行。
揃定価一二九、七八〇円(本体一二六、〇〇〇円)

影印 仮名錦繡段・三體詩・古文真寶

久富哲雄編・解題
江戸期に刊行された貴重な振仮名つき漢詩文集を復刻、『錦繡段』『三體詩』は、天和版と元禄版の二種類を収録。近世の文学作品読解の参考となる文献集。定価一〇、三〇〇円(本体一〇、〇〇〇円)